

固定資産税の税率見直しに係る市民説明会等の結果について（報告）

1. はじめに

令和8年7月から8月において実施しました市民説明会に、延べ376名の方に参加いただき、多くのご質問やご意見等をいただきました。これらのご意見等も参考とし、令和8年9月定例議会に名張市市税条例の改正議案を提出します。

2. 市民説明会等の開催実績

	月日	時間	場所	参加者数
1	7月19日(日)	10時00分～	つつじが丘市民センター	32名
2	7月20日(月)	10時00分～	名張市防災センター	26名
3		14時00分～	梅が丘市民センター	42名
4	7月22日(水)	18時00分～	錦生市民センター	26名
5	7月29日(水)	18時00分～	蔵持市民センター	15名
6	8月1日(土)	10時00分～	美旗市民センター	25名
7		14時00分～	名張市民センター	35名
8	8月2日(日)	10時00分～	薦原市民センター	14名
9		14時00分～	くにつふるさと館	20名
10		18時00分～	箕曲市民センター	20名
11	8月7日(金)	18時00分～	赤目市民センター	19名
12	8月8日(土)	10時00分～	すずらん台市民センター	24名
13		14時00分～	比奈知市民センター	14名
14	8月9日(日)	10時00分～	桔梗が丘市民センター	33名
15		14時00分～	百合が丘市民センター	31名
延べ参加者数				376名

※ 上表の市民説明会に加え、地域づくり代表者会議（6月29日（月）・17名）、名張商工会議所（6月30日（火）・35名）、伊賀法人会（6月30日（火）・会長及び役員、事務局5名）、三重県宅地建物取引業協会伊賀支部／伊賀南部不動産事業協同組合（7月31日（金）・19名）など関係団体の皆さんに説明を行いました。

3. 市民説明会で寄せられた主な質問、意見の整理及びアンケート結果について

（1）市民説明会で寄せられた主な質問、意見の整理

ア. 税率の見直し、市民負担及び負担の公平性について

○0. 3%の上乗せは、現在の固定資産税額の概ね2割増しという理解でよいのか。

また、評価額や課税標準額の見直しと重なり、二重の負担増とならないのか。

○人口減少や社会保障費の増加が続く中、税率1.7%への見直しで十分なのか。

将来、さらに税率が引き上げられることにならないか。

○税率を5年ごとに検証するとした理由は何か。3年ごとなど、より短い期間で見直すべきではないか。また、財政状況の変化に応じて、5年を待たずに見直すことも検討してほしい。

○市民税、法人市民税、軽自動車税などではなく固定資産税を選択した理由や固定資産の所有者に負担を求めることの公平性を明確にしてほしい。また、空き家・空き地や農業用機械等についても適正な課税・徴収を行い、負担の公平性を確保してほしい。

○年金生活者の生活状況や物価高等による家計負担、収益につなげにくい田畑・山林の維持管理負担、住宅取得や定住への影響などを十分考慮するとともに、都市計画税や空き家等への課税など、他の方法も検討してほしい。

イ. 増収分の使途、財政健全化及び行財政改革について

○増収分をどの事業にどの程度充てるのか。将来への投資や基金への積立てなども含め、具体的に示してほしい。

○固定資産税の税率引上げには反対である。人口減少が進む中、行政サービスや公共施設の縮小・見直しも含め、歳出をより踏み込んで見直すべきではないか。その上で、誰が、いつ、何を、どのように取り組むのか、予算額、工程、目標、成果などを明らかにし、その進捗や結果を市民に分かりやすく示してほしい。

○税率見直しによる増収によって、借入れや将来負担がどの程度軽減され、財政状況がどのように改善していくのかを具体的に示してほしい。

○年度ごとの財源不足額の変動理由や、財政調整基金、公債費（借金）の状況について説明するとともに、いつ頃どのような財政状態を目指すのか、中長期的な見通しを示してほしい。

○事務事業、公共施設、補助金などについて、必要性や効果を改めて検証し見直しを進めるとともに、細かな経費削減も含め、行財政改革をさらに進めてほしい。

ウ. 職員体制、議会、市の責任及び自主財源の確保について

○財政が厳しい中、職員の給与、賞与、手当、退職金をどのように考えるのか。また、特別職の給与や賞与についても見直すべきではないか。

○市議会議員の報酬の引下げや定数削減を含めた見直しを行うとともに、専門性のある人材による監査など、厳格で実効性のあるチェック体制を整えてほしい。

○若手職員の退職や採用試験の受験者減少など、人材確保の課題について原因を分析し、職員が意欲を持って働ける環境づくりを進めてほしい。

○給与カットや行財政改革による職員の意欲低下にも配慮するとともに、職員だけに負担を求めるのではなく、市役所全体で行財政改革や財源確保に取り組んでほしい。

○適正な課税・収納、国庫補助金、未利用資産、ふるさと納税、クラウドファンデ

ィング、ネーミングライツなど、税率見直し以外の財源確保策をさらに進めてほしい。

エ. 地域経済、農業、医療、子育て、教育について

○企業撤退による雇用、税収、人口、ふるさと納税等への影響を把握し、従業員の再就職支援や跡地活用を進めるとともに、新たな企業誘致を進め、雇用や税収の確保、若い世代の流入につなげてほしい。

○農地について、所有者の維持管理や税負担、担い手不足、遊休化・荒廃などの課題を踏まえ、農地の有効活用や雇用の場づくりにつなげる取組を進めてほしい。

○市立病院の診療体制や経営、一般会計からの負担、伊賀市等との役割分担や広域連携の方向性を明確にするとともに、産科の設置や開業医の誘致など、地域で安心して医療を受けられる環境を整えてほしい。

○給食費や子どもの医療費助成など、周辺自治体と比べて子育て支援が十分でないとの声も踏まえ、若い世代が名張で子どもを産み育てたいと思えるよう子育て、教育への支援を充実してほしい。

○中学校給食について、早期の実現を求めるとともに、開始時期や事業費、運営費などを明確にしてほしい。また、バス通学に係る負担などにも配慮してほしい。

オ. 公共施設、生活基盤、まちづくり及び市民参加について

○ごみ処理施設や給食センターなどについて、建設費の高騰により追加の市民負担が生じないようにするとともに、人口減少や施設の利用状況を踏まえ、老朽化した公共施設の更新、廃止、集約などを検討してほしい。

○公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽等について、負担の公平性を検討するとともに、固定資産税に加えて水道料金も見直されれば市民負担が大きくなることから、負担全体を十分考慮してほしい。

○新しいごみ処理施設について、公民連携による整備や産業廃棄物の受け入れにより、周辺の生活環境や安全性への影響が懸念されるほか、ごみの減量を進める行政の役割との整合性にも疑問があることから、十分に検討してほしい。

○空き家や既存住宅を活用し、若い世代や働き盛り世代の移住・定住につなげてほしい。

○名張市の自然、歴史、文化、農業、地理的な強みなどを生かし、市外から人を呼び込む取組を進めるとともに、市民が「声を上げて何事も変わらない」と感じるここのないよう、市民の意見をまちづくりに生かしてほしい。

※上記アからオの内容は、市内15会場で寄せられたご質問やご意見について、類似する内容を統合・要約し、主な論点ごとに整理したものです。各会場の質疑応答の詳細については、市ホームページに議事概要を掲載しています。

(2) 市民説明会参加者へのアンケート結果について

※添付資料「市民説明会 アンケート集計結果」のとおり

4. 固定資産税の税率見直しに関する検証・見直しについて

固定資産税の税率見直しにより確保する歳入については、「未来の暮らしを創る着実な投資」と「健全な財政基盤の土台づくり」に活用します。歳入の使途の可視化と、毎年度の施策推進・財政状況の検証の積み上げを行いながら、5年ごとの総括的な検証や市民との情報共有・対話を一体的に進めることで、説明責任を徹底します。

(1) 歳入の使途の可視化と施策の進捗管理について

確保する歳入の具体的な使途や予算への反映、毎年度の進捗管理については、以下の仕組みにより透明性を確保します。

ア. 未来の暮らしを創る着実な投資（歳入の使途の可視化）

- ・総合計画において、固定資産税の税率見直しによる歳入で実現していく5つの重点施策を中心に、実施計画や目標値を明らかにします。
- ・施策目標の達成に向け、関連する事務事業を毎年度の当初予算に反映し、歳入の使途を可視化します。
- ・毎年、各部局や行政評価委員会等で実施する施策評価を通じて、重点施策の達成状況や課題、市民意識調査結果等を分析・検証し、次年度への展開方針とともに公表します。

イ. 健全な財政基盤の土台づくり（指標管理と将来試算）

- ・中期財政計画と行財政改革プランを連動させ、持続可能な財政運営に向けた財政指標を設定し管理します。
- ・決算報告や毎年11月に策定する中期財政試算・中期財政計画において、今後の収支見通しや財政指標の推移、行財政改革取組の目標・実績等を公表します。

財政指標（令和12年度末） 実質公債費比率 : 13%以下

将来負担比率 : 140%以下

財政調整基金残高：毎年度10億円以上

(2) 5年ごとの総括検証と税率の見直し判断

毎年度実施する(1)の検証の積み上げを基礎として、中長期的な視点から総括的な検証と税率見直しの検討・判断を行います。

ア. 5年ごとの総括検証

- ・毎年度実施する検証の積み上げを基礎として、5年ごとに施策目標の達成状況や

財政指標の推移、将来的な財政見通し等を総合的に検証します。

- ・社会経済情勢の変化や地方財政を取り巻く状況等を踏まえながら、固定資産税の税率の見直しについて十分な検討を行い、所要の措置を判断します。

イ．情報の共有と対話

- ・広報紙やホームページ等を通じて、5年間の取組成果をはじめ、まちづくりの方向性や財政見通し、税率見直しの考え方等について、市民の皆さんとの情報共有を図るとともに、対話の場づくりを進めます。

(参考資料)

行財政改革等に関する令和6年11月以降の主な取組経過について

1. 市議会等

時期	主な動き	概要
令和6年度		
令和6年 11月20日	全員協議会	「中期財政計画(令和6年度ローリング版)」、「名張市行財政改革プラン」、「なばり新時代の大改革宣言」を一体的に説明
令和7年 2月～3月	令和7年3月 定例議会	行財政改革プランに基づく歳入確保・歳出削減の効果額を令和7年度当初予算に反映
令和7年度		
令和7年 5月27日	全員協議会、行 財政改革調査特 別委員会	「市立病院の財政見通し」、「中学校給食に係る事業費の検証結果」、「中期財政計画(令和6年度ローリング版)の時点修正及び主要施策の方向性」、「今後の行財政改革プラン等の取組」を説明し、中学校給食の事業着手を当面の間、延伸する方針を表明
令和7年 7月7日	行財政改革調査 特別委員会	令和6年度に「新たな財源確保ワーキンググループ」において実施した課税自主権の活用や使用料・手数料の見直し等の財源確保に向けた調査、検討の結果を報告
令和7年 8月21日	全員協議会	「使用料、手数料等の額の見直しに係る関係条例の整備について」を説明
令和7年 9月22日	行財政改革調査 特別委員会	「行財政改革プラン(令和6年度)推進状況」の報告、議案第15号「使用料、手数料等の額の見直しに係る関係条例の整備に関する条例の制定について」を説明
令和7年 11月20日	全員協議会	「中期財政計画(令和7年度ローリング版)」を説明
令和7年 12月23日	市議会→市	市議会から市に「財政健全化に向けた新たな財源確保に関する意見について(超過課税の実施検討、法定外税の新設に向けた研究、防災庁の地方拠点の誘致、国への財政支援要望の強化)」を提出
令和8年 2月～3月	令和8年3月 定例議会	行財政改革プランに基づく歳入確保・歳出削減の効果額を令和8年度当初予算に反映
令和8年度		
令和8年 5月28日	全員協議会	「中学校給食の実施に係る今後の方針等について」、「暮らしやすさと幸福が実感できるまち」を目指して(固定資産税の税率見直しについて)」を説明
令和8年 7月8日	行財政改革調査 特別委員会	「事務事業見直しの取組について」、「普通交付税制度等について」を説明
令和8年 8月5日	行財政改革調査 特別委員会	「行財政改革プラン(令和7年度)推進状況」の報告

2. 説明会等

時期	主な動き	概要
令和7年度		
令和7年 8月22日 ～8月30日	まちづくり懇談会(市内5か所)	中学校給食の事業着手の当面延伸、市立病院の経営改善、市財政の現状と課題、行財政改革の取組等について、市長が市民の皆さんに直接説明し、意見等を聴取
令和8年度		
令和8年 7月19日 ～8月9日	市民説明会(市内15か所)	固定資産税の税率見直しの考え方や必要性、税収の活用方針などを説明するとともに、市民の皆さんからの質問や意見を通じて理解促進と意見把握を図る市民説明会を開催

3. 広報

時期	掲載概要
令和6年度	
広報なばり 令和6年12月号	人口減少や高齢化に伴う社会保障費の増加、公共施設の老朽化、過去の市債償還など本市の財政課題を示し、「なばり新時代の大改革宣言」や「中期財政計画」、「行財政改革プラン」に基づく財政健全化の取組を説明
令和7年度	
広報なばり 令和7年6月号	市立病院への追加の財政支援などを含む厳しい財政状況を踏まえ、中学校給食センター整備運営事業について、令和9年度中の開始に向けた事業着手を当面の間、延伸する方針をお知らせ
広報なばり 令和7年7月号	中学校給食の事業着手延伸について、恒常的な財源不足や市立病院への支援など、その判断に至った財政的な背景を詳しく説明
広報なばり 令和7年8月号	中学校給食の延伸、市立病院の経営改善、行財政改革など、市が抱える現状と課題について市民と共有し、意見や提言を伺うため、8月下旬に市内5会場で「まちづくり懇談会」を開催することを周知
広報なばり 令和7年11月号	まちづくり懇談会の主な意見と市の考え方の紹介、行財政改革の一環として取組を進めた使用料・手数料改定の周知とともに、令和6年度決算を基に実質単年度収支や各財政指標など市の財政状況を説明
令和8年度	
広報なばり 令和8年4月号	行財政改革プランの集中取組期間3年目として、歳入確保・歳出削減の計約3.2億円の改革効果額を令和8年度当初予算に反映した取組を説明
広報なばり 令和8年7月号	将来にわたり必要な行政サービスを維持し、持続可能なまちづくりを進めるため、令和9年度から固定資産税の標準税率1.4%に0.3%を上乗せし、1.7%とする税率見直しの考え方を説明

市民説明会 アンケート集計結果

参加人数及び回答状況

日時		会場	参加人数
7月19日（日）	10：00～12：00	つつじが丘市民センター	32名
7月20日（月）	10：00～12：00	名張市防災センター	26名
	14：00～16：00	梅が丘市民センター	42名
7月22日（水）	18：00～20：00	錦生市民センター	26名
7月29日（水）	18：00～20：00	蔵持市民センター	15名
8月1日（土）	10：00～12：00	美旗市民センター	25名
	14：00～16：00	名張市民センター	35名
8月2日（日）	10：00～12：00	薦原市民センター	14名
	14：00～16：00	くにつふるさと館	20名
	18：00～20：00	箕曲市民センター	20名
8月7日（金）	18：00～20：00	赤目市民センター	19名
8月8日（土）	10：00～12：00	すずらん台市民センター	24名
	14：00～16：00	比奈知市民センター	14名
8月9日（日）	10：00～12：00	桔梗が丘市民センター	33名
	14：00～16：00	百合が丘市民センター	31名
合計			376名

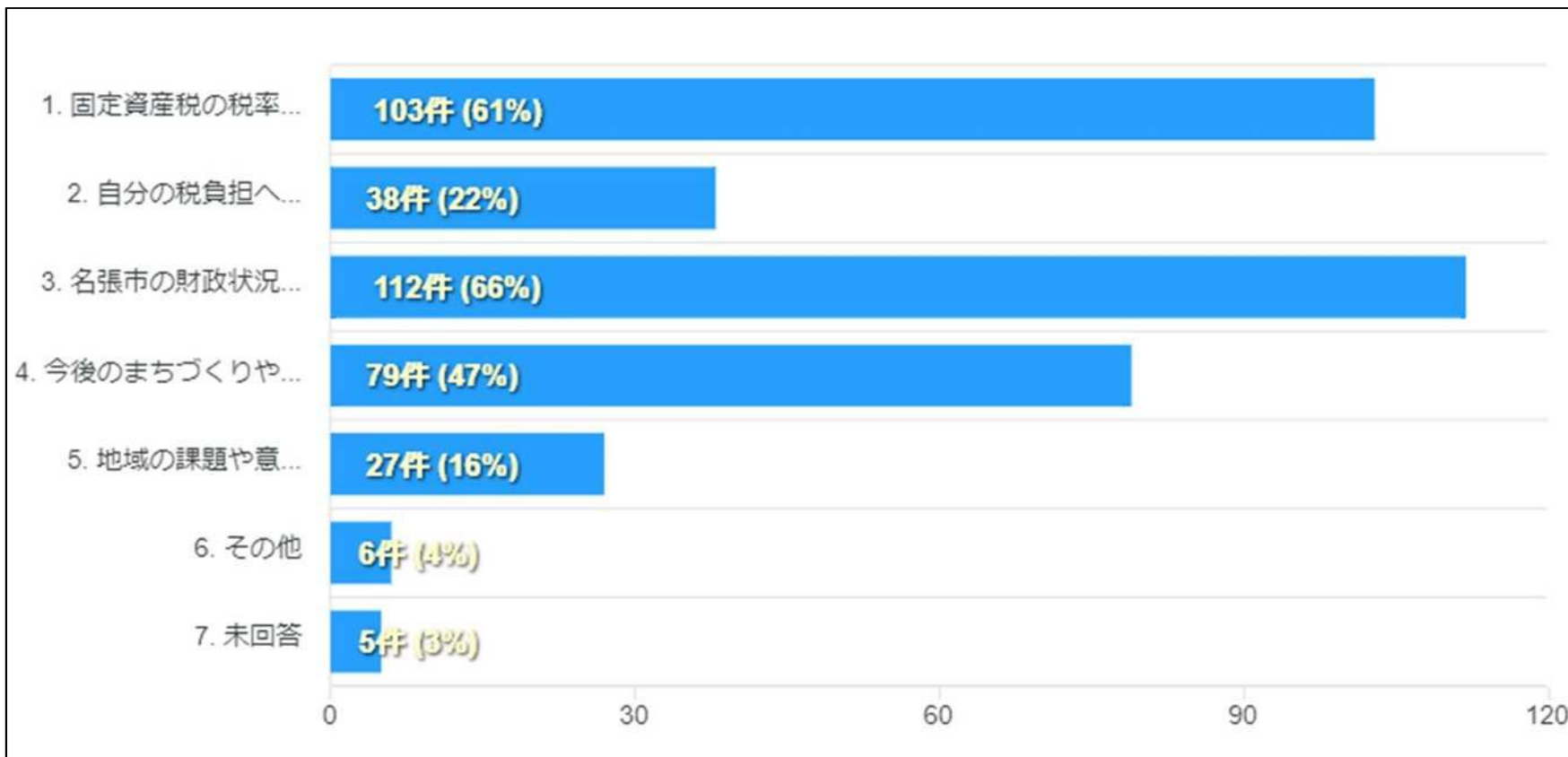
アンケート回答数・回収率、年齢別回答率

参加者数	アンケート回答数	回収率
376名	169件	44.9%

【参考】

20代:0.6%(1名) 30代:1.2%(2名) 40代:4.1%(7名) 50代:7.1%(12名)
60代:24.9%(42名) 70代以上:52.7%(89名) 未回答:9.5%(16名)

Q 1. 説明会に参加されたきっかけは何ですか。〔（複数選択可）〕



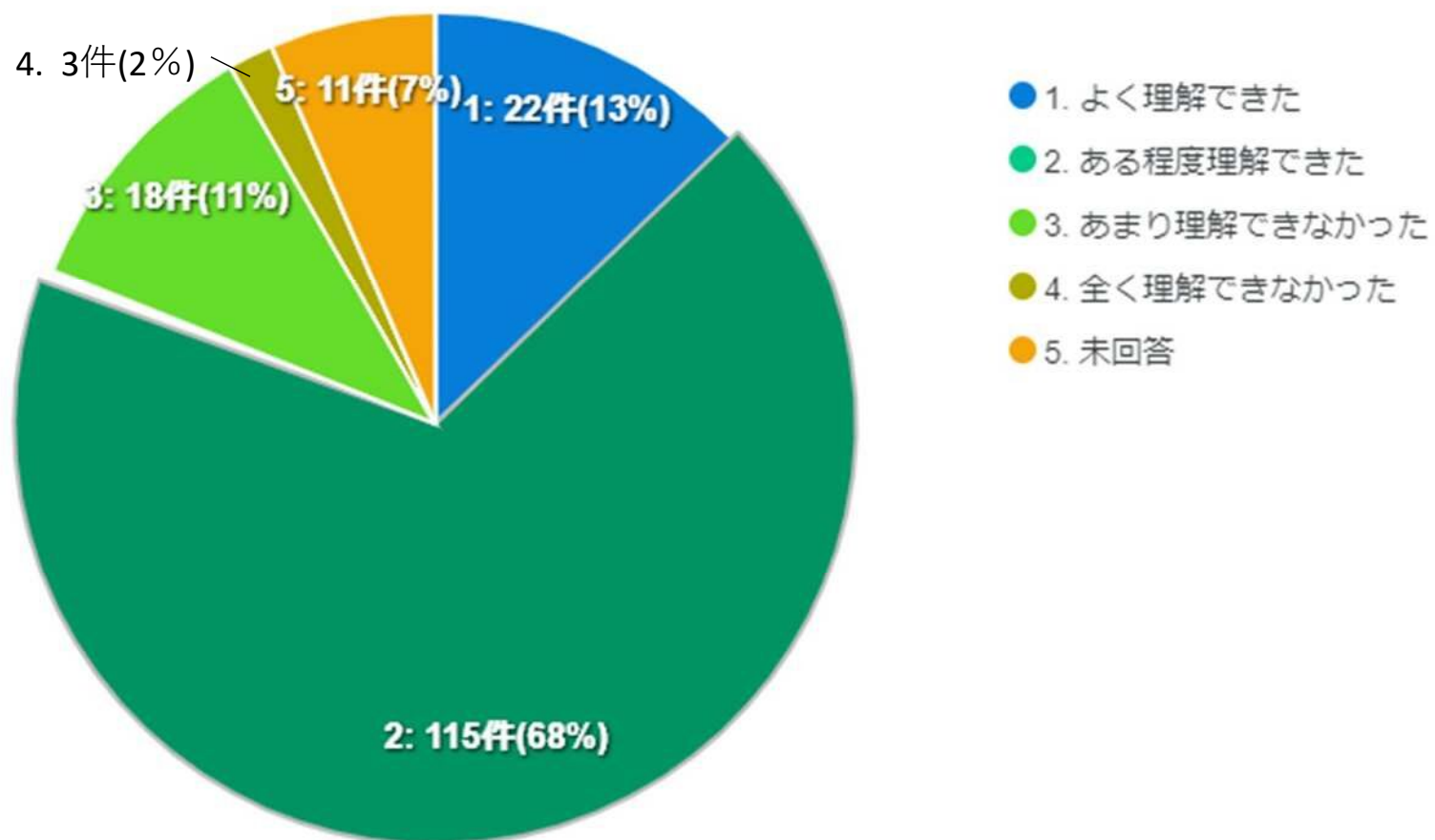
【選択肢】

1. 固定資産税の税率見直しの内容を知りたかったから
2. 自分の税負担への影響を知りたかったから
3. 名張市の財政状況を知りたかったから
4. 今後のまちづくりや重点施策に関心があるから
5. 地域の課題や意見を市長に知ってほしかったから
6. 未回答
7. その他

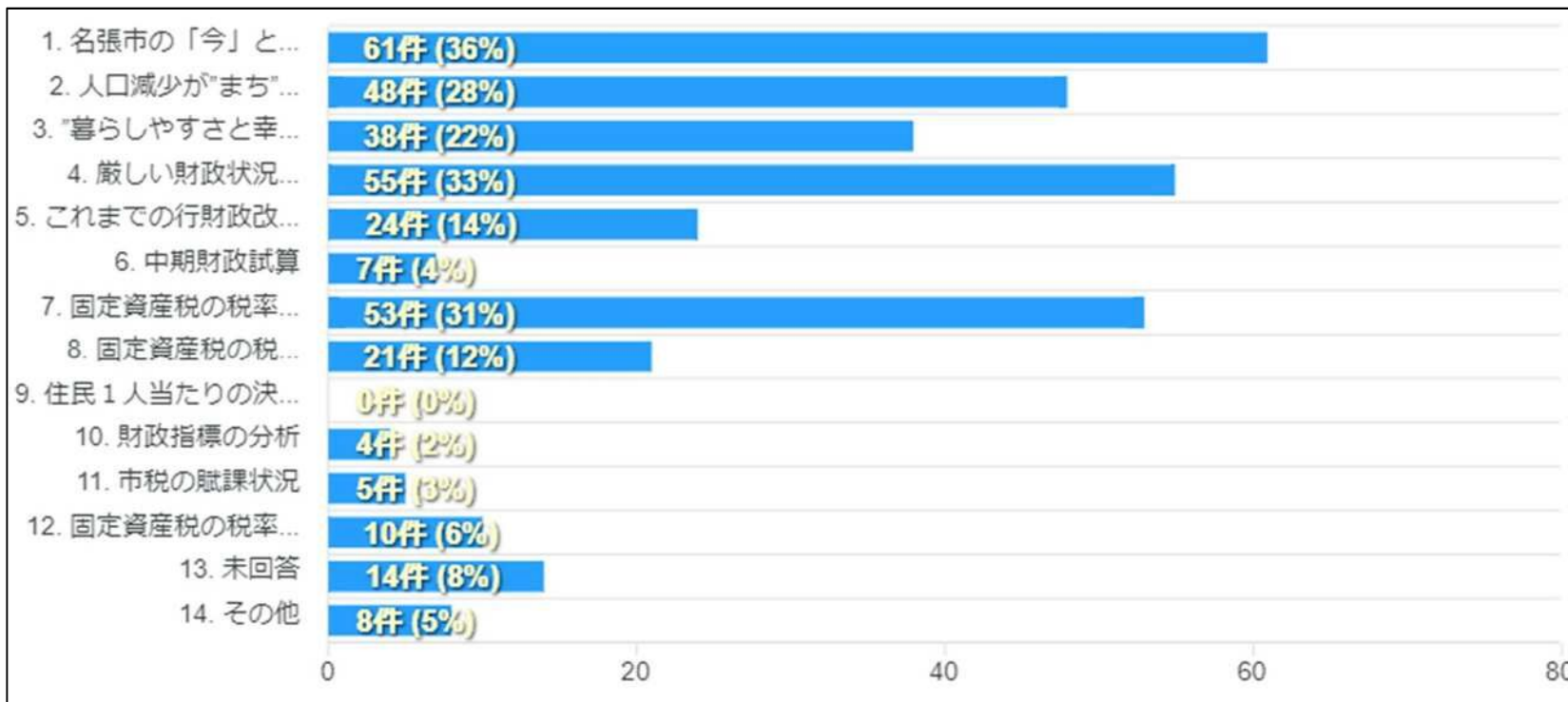
【その他意見】

- ・名張の財政的姿勢が見たい
- ・今後名張市立病院への補助は続けてくれるのか知りたかった
- ・固定資産のある人となない人による差別にもなるのでは
- ・住民の意見を聞きたかった
- ・なぜ、目的税にしなかったのかを知りたかった
- ・地域住民の増税に対する反応、思いを知りたかったから

Q 2. 本日の説明内容について理解は深まりましたか。



Q 3. 本日の説明で、特に興味を持った内容はどれですか。（最大3つまで選択可）



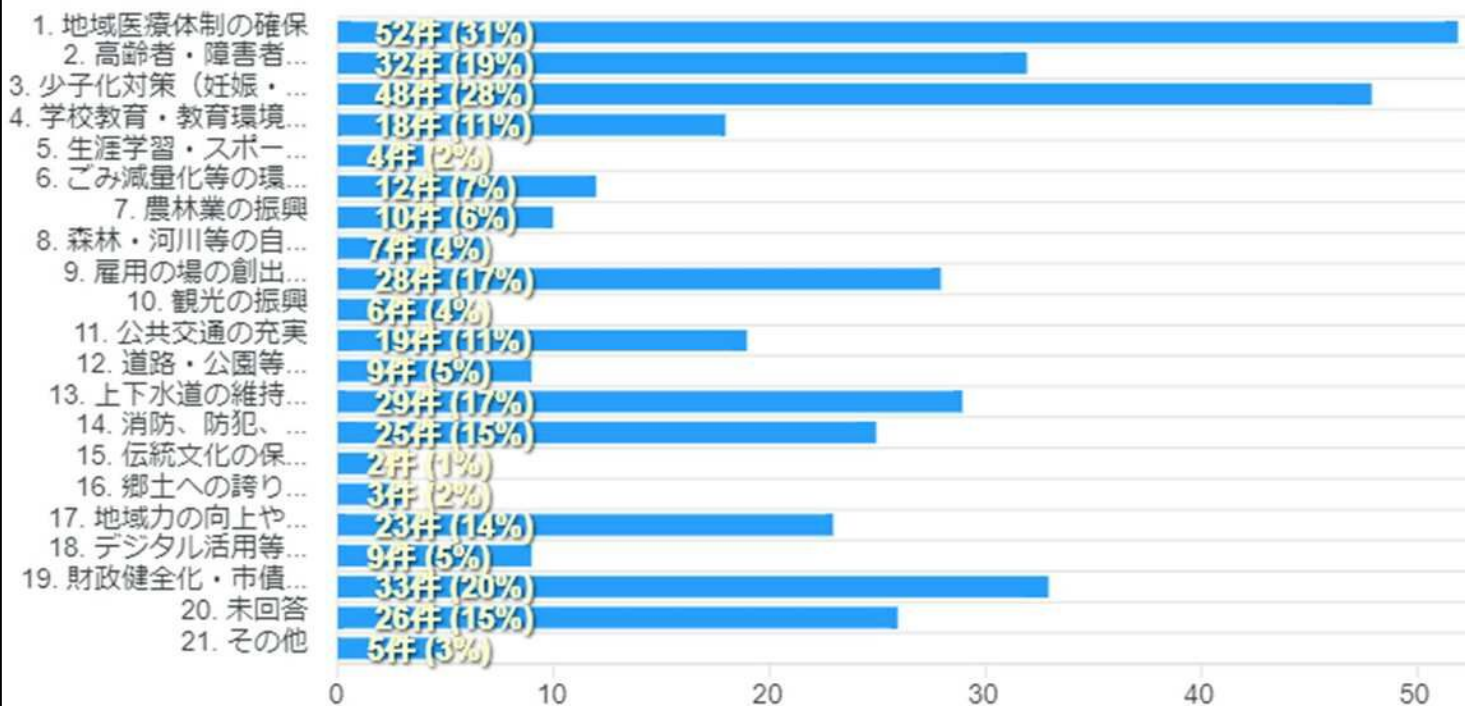
【選択肢】

1. 名張市の「今」と「これから」
2. 人口減少が“まち”に与える影響
3. “暮らしやすさと幸福が実感できるまち”をめざす5つの重点施策
4. 厳しい財政状況の構造的要因
5. これまでの行財政改革の取組状況
6. 中期財政試算
7. 固定資産税の税率見直しの内容（令和9年度から1.4%→1.7%）
8. 固定資産税の税率見直し後の中期財政計画
9. 住民1人当たり決算分析
10. 財政指標の分析
11. 市税の賦課状況
12. 固定資産税の税率見直しによる税額負担の増加見込
13. その他
14. 未回答

【その他意見】

- ・市長との質疑応答
- ・外から見た名張の良さをアピールしていくという意見、希望がある
- ・給食センター整備事業
- ・ごみ処理施設、給食センター
- ・身近な将来像がえがけない現実
- ・名張市の将来が見えないこと
- ・先行きの不透明さやR13以降も財政の健全化を確保することが難しいこと
- ・財源確保するための市長及び市会議員の行動量が知りたかった、答えはなし

Q 4. 今後も人口減少が進む中で、限られた財源を有効に活用し、自立したまちづくりを進めていく必要があります。税率見直しにより確保する財源について、特に重視して活用してほしい事業分野はどれですか。〔（最大3つまで選択可）〕



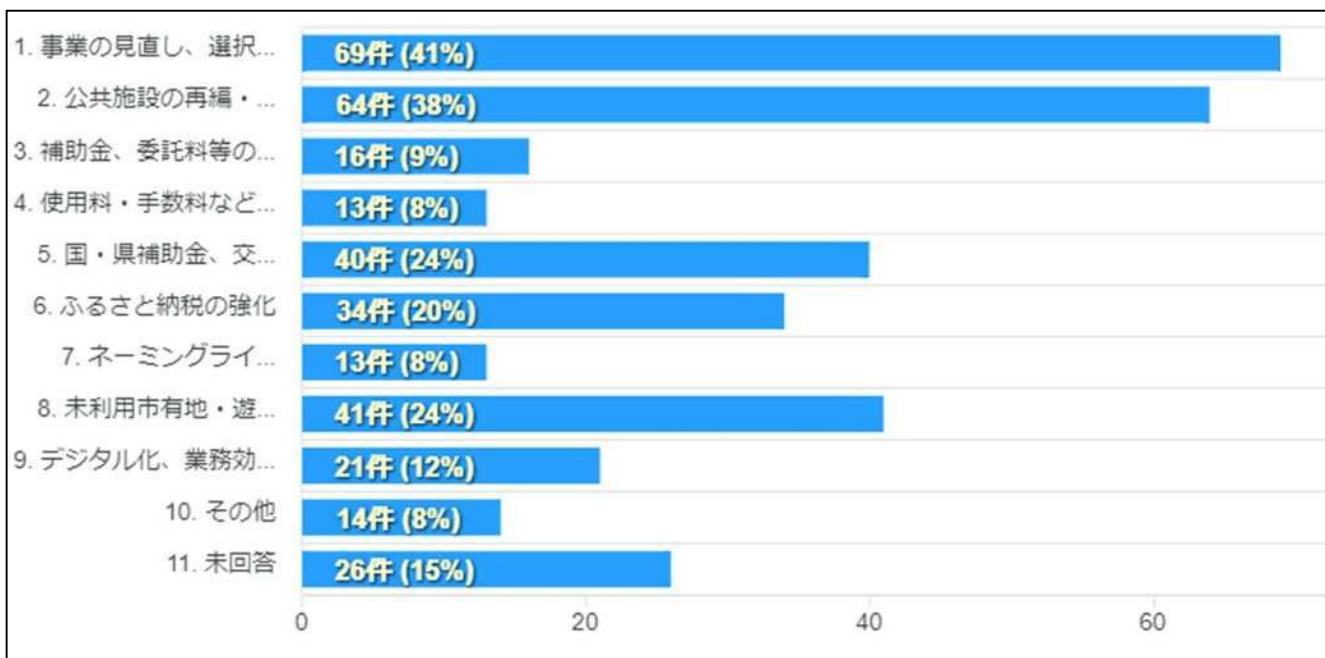
【選択肢】

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 地域医療体制の確保 | 2. 高齢者・障害者等への福祉サービスの確保 |
| 3. 少子化対策 | 4. 学校教育・教育環境の充実 |
| 5. 生涯学習・スポーツ活動の充実 | 6. ごみ減量化等の環境対策の推進 |
| 7. 農林業の振興 | 8. 森林・河川等の自然環境の保全 |
| 9. 雇用の場の創出、地域経済の活性化 | 10. 観光の振興 |
| 11. 公共交通の充実 | 12. 道路・公園等の整備 |
| 13. 上下水道の維持・更新 | 14. 消防、防犯、地震や豪雨災害等への備え |
| 15. 伝統文化の保存・活用、文化芸術の振興 | 16. 郷土への誇り・愛着の醸成 |
| 17. 地域力の向上や魅力ある地域づくり | |
| 18. デジタル活用等による効率的な行財政運営の推進 | |
| 19. 財政健全化・市債(借金)削減 | 20. その他 |
| | 21. 未回答 |

【その他意見】

- ・地域サービスの質を高める
- ・医療関係の問題の展望、特に市立病院について
- ・企業誘致をもっと考え、市収入を増やすことを考えてほしい
- ・市外から転入増につながる明石市等を参考とした新たな無料化政策
- ・各部署の真に的確な予算計画とその執行

Q 5. Q 4 でお答えいただいた事業分野がある一方で、市の財源には限りがありますので、歳入確保や歳出削減の取組が不可欠です。固定資産税の税率見直しとあわせて、市がさらに取り組むべき行政改革や歳入確保策は何だとお考えですか。〔（最大3つまで選択）〕



【選択肢】

1. 事業の見直し、選択と集中
2. 公共施設の再編・集約化、維持管理の効率化
3. 補助金、委託料等の見直し
4. 使用料・手数料など受益者負担の見直し
5. 国・県補助金、交付金等の更なる活用
6. ふるさと納税の強化
7. ネーミングライツ、広告収入など民間協賛の拡大
8. 未利用市有地・遊休資産の売却、貸付、活用
9. デジタル化、業務効率化による経費削減
10. その他
11. 未回答

【その他意見】

- ・入湯税1,000円非課税を見直す
- ・税源培養としての企業誘致。リクシル跡地は一筋縄ではいかないことは理解できたが、しっかり追尾していただきたい
- ・就労の場づくり
- ・市庁内経費の削減、事業成果を出す
- ・空き家活用
- ・市議会議員削減（人口減少のため）
- ・住民税を増やすためには定住者の生活圏を安定させる為の企業誘致、インフラ整備ができるようにしてほしい
- ・小規模校の学校統廃合、市長・副市長の退職金全面カット
- ・黒字へなるように
- ・過去から脱却する従来型の業務の見直し
- ・議員数削減
- ・企業誘致
- ・資産の売却は特に
- ・市立病院の廃止

Q 6. 現在、市が取り組んでいる事務や事業で見直し（縮小・休止・廃止・統合など）が必要とお考えのもののや歳入確保策等がありましたら、ご記入ください。

1	・ゴミ処理場の件は、名張市全体の課題なので、今回のように説明会を開いてほしい。
2	・「①雇用の確保」「②医療体制の充実」「③子育て世帯の強化」：名張市への転入施策 ・「④国民健康保険圧迫←高齢者医療の縮減」「⑤生活保護世帯基準見直し（チェック体制）」「⑥観光資源の育成」④⑤⑥は見直しを図る
3	・ホッケー場の廃止、市民センターの統合、市議会の人数縮小
4	・いきいき会館必要かな。 ・スーパー誘致ばかりではなくもっと自然を生かしたもので人を呼ぶことできないのかな。
5	・縮小は見直し要 ・スマートシュリンクへの影響度 ・八幡工業団地の拡大等の計画
6	・伊賀市との連携をさらに深め、統廃合を考えるべきかと思います。
7	・市民センターの統合
8	・新しい（浄化センター）ごみ処理施設に、温水プールや大型温泉設備を入れた施設を作り、1日ゆっくりできる親子連れで来れるようにしてはどうか。
9	・映画ドラマ等の撮影への積極協力、優遇策、誘致 ・「道の駅」建設
10	・議員の削減。
11	・職員人件費の更なる削減は控えていただきたい。私は、名張市職員との個人的な繋がりには皆無だが、過度の給与削減は士気低下をもたらし、回り回って、市民が不利益を被りかねない。それよりも議員定数を削減されたい。北川市長は勇気をもってタブーに斬り込んでいただきたい。
12	・名張市民が名張市に「ふるさと納税」をできるような魅力と宣伝
13	・全ての事業縮小統合の考えは良いと思うが、小学校の統廃合はやめて頂きたい。地域が寂しくなる。
14	・名張の自然、価格の低さ（安さ）をアピールできる。空き家対策も外への差別化、都会の人が空き家を買うのはリスクを感じる。市が借り上げてレンタル（家を賃貸という選択）

Q 6. 現在、市が取り組んでいる事務や事業で見直し（縮小・休止・廃止・統合など）が必要とお考えのものや歳入確保策等がありましたら、ご記入ください。

15	・縮小ばかりでは、活気が生まれてこないので経費（お金）だけの考えでなく目には見えないお金以上の成果のある事業などは守ってください。
16	・やなせ宿廃止 ・市議会議員の減給
17	・市議会議員の削減
18	・SNSでの若者へのアピール
19	・議員報酬
20	・名張のまちづくりの仕組みを導入してから20年ほどになると思いますが、今後もこのスタイルを継承していくのでしょうか。制度疲労を感じます。
21	・市下水道、農排下水道の統合（加入金の一元化）
22	・ふるさと納税返礼品の新たな開拓をして歳入増を図る。 ・広報に広告を掲載し収入増を図る（広告掲載の営業をする）
23	・給食センター、ごみ処理施設など多額の費用が建設にかかると思います。給食センターではなく小学校で中学校給食も含めてつくる親子方式にすれば小学校の施設の改修ですむし、子どもたちに身近な安心安全な給食を提供できると思います。ごみ処理施設は伊賀市と連携して規模にあった施設づくりを。産廃の持ち込みは反対です。
24	・市有地の利活用（例えば旧市史編纂室）も必要ではないか（まだ手付かずで残っているもの） ・地域づくり活動やボランティア活動に若い世代も含んで、いわゆる現役世代が参加できる仕組みきっかけを作してほしい。
25	・ネーミングライツをどんどん進めていくこと。 ・名張市出身の有名人をよんで、助けてもらう。イベントとか。
26	・外部人材の採用とありますが、外国人の採用は絶対にやめてほしい。日本人のみの採用にしてください。
27	・人口減少ばかりいっていても仕方がない。企業等の誘致をもっと盛んにし税収を増やす努力を。 ・企業誘致のためには道路の整備をもっとしっかりすべきである。名阪国道岩屋方面からの乗り入れ道等
28	・小学校、中学校の統廃合 ・無駄な役職の廃止、部署の廃止 ・市議会議員の削減 ・給食センターの民間委託 ・不公平な税制の廃止 ・市長の給料の半減（赤字の責任をとる）

Q 6. 現在、市が取り組んでいる事務や事業で見直し（縮小・休止・廃止・統合など）が必要とお考えのものや歳入確保策等がありましたら、ご記入ください。

29	・結果の出ない事業は縮小または廃止してほしい。
30	・小中学校の統廃合 ・市長の給料の半減 ・市議会議員の半減 ・無駄な部署役職の廃止 ・無駄な支出が多い
31	・市広報は、行政から市民へのお知らせだけで結構ですので、DX化を図り人員を削減してください。
32	・宿泊税、入湯税の導入
33	・名張市民病院の救急医療のみに特化した機能のスリム化による5億円の赤字の大幅な縮小 ・給食センター新設の見直し
34	・学校給食の一時停止…財政苦の中で無理に実行せず（選挙で約束したからと思わず）財政の見通しがつくまで計画の見直しをし、予算削減策を考える事が重要課題と思う。その理由 ㊦インフレの時代すべてが物価方向→予算立てても物価高で最終費用が見えない→今実行すれば大損！！ ㊧災害時を考えれば、自校調理方式が望ましいし、食の安全度も高い。リフォームで今は（財政の見通しがつくまで）しのぐべきだと思う。
35	・先ずは、限られた予算の中で、何を優先させるか？を投資効果による分析と職員自ら考え発案し、他部局連携可能な事案は予算統合しつつ効果的な予算支出などを、若い職員間で考えさせる事が重要。幹部の意見や発案、従来業務の繰り返しは直ちにやめること。新たな市役所、将来に向かっての市役所行政を進めないと、この市政は破滅の一途。
36	・人口減少が進むなかで、比例的に業務が縮小となる場所の職員数見直しや担当組織の合体。本署でない出先機関の職員数の削減又は統合。
37	・医療施設の充実（市民病院の更なる充実）あらゆる病気に対応できる体制をつくりあげてほしい。
38	固定資産税の税率は理解できました 今回期限を設けず5年ごと見直しというのが、とてもとても不安です インフラのメンテナンスなどなど5年後の収支がどうなるかわからない…ということが説明会に行っていました
39	・学校給食センター廃止して、配食、宅配弁当にして、固定費削減。 ・市会議員の削減。 ・企業の誘致をして税収アップして個人税金を減らす。
40	・市職員、議員の給与の更なるカット。 ・まち保の廃止（あんまり意味がない。具体的にどんなことをしているのかわからない）。 ・イオンの2階か3階にある子どもの遊び場の廃止（あんまり使っている人いない） ・広報誌のカラー化をやめたらよい。 ・ホッケー場の廃止（無駄遣いだと思います。）

Q 6. 現在、市が取り組んでいる事務や事業で見直し（縮小・休止・廃止・統合など）が必要とお考えのものや歳入確保策等がありましたら、ご記入ください。

41	・市会議員の削減（人口が減っているので）
42	・ライフライン以外となる特に教育委員会イベント（青蓮寺マラソン等）は不要と思います。 ・後、危機的な市財政の中、移住する人がいるのでしょうか。移住関係の部署は廃止すべき。財政が安定したらやればよい。 ・職員給与の大幅なカットが必要。自らすべきことをしてから市民に負担をしてもらうべきではないか。
43	・先端技術 I T 等導入による合理化省資源化
44	・協議会の体制の見直し、協議会の壁の撤廃
45	・地域でそれぞれ感じているのが、名張市在住の方の意見が大事であると思います。
46	・名張川河川改修と下水道移管工事を一体化し、国の補助金利用をお願いします。 ・学校給食と老人ホーム給食も含めた給食センターを構築してはどうか。
47	・市立病院の整備 ・ネーミングライツ施設の拡充
48	・地域版のファンドの設立
49	・給与の削減は無理ですが、残業代の削減などもう少し考えてはどうか。
50	・ふるさと納税で税収アップに引き続き取り組んでもらいながら、名張市民に増税しないため市民税等を名張市に納めるよう便りやリーガ、キャンペーンなどを通して訴えてほしい。
51	・どうしても必要な公的サービスと住民が自分たちで行うべきことについて、きちんと線引きをして、住民パワーを引き出し活用することが必要です。例えば道路の除草などは田舎に行けば当たり前に行っていること。
52	・2005年人口が82156人から2050年人口が50394人に減少する予想なので議員数もそれに応じて減らすべき。現在の数は養えない。
53	・道路を作ると必ず道路脇に植樹してる。その樹木の剪定に年間何百万円も使っている。新宿や大阪の御堂筋のように緑がない地域では植樹は必要ですが、これだけ周辺に緑がある名張では道路脇に樹木を植える必要はなく撤去していくべきである。
54	・全国区になる名産品の創生
55	・固定資産税の見直しをまず実行していただいて名張市が破綻しない方向にしてほしいです。
56	・計画にのっとりすすめてください。

※Q 6 の自由記述については、趣旨を損なわない範囲で、個人が特定される表現等を整理して掲載しています。

Q 7. 固定資産税の税率見直し、市政運営、地域の課題等について、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。また、より良いまちづくりに向けて、市民の皆さんからご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。

1	・横文字の説明はよくわからない
2	・名張市は財政的に厳しく、他市と比べて行政サービスが少ないと感じることもあります。それでも名張を良くしたいと行動している人も知っています。（きちんと活動している人）しかし、市民は「どうせむり」と考えている方々も多数いる。そういう市民性を持っている市だと感じています。その理由の中でも名張はやり始めるが理由をつけてやり続けられない（例えば、病院が新しい科ができて半年後にDr都合でなくなるなど）。サービスが続かない期待を持たせながら落とすことを繰り返されれば、皆、期待もしなくなってしまうと思います。やめる理由づけ（必要でないものはなくしますが）現場の都合で必要性があるのにやめるのはやめてほしいです。副首都構想に対しての考え、大阪が選ばれたときの機会を逃さないでください。大阪との関係づくりをしっかりとしてください。
3	・固定資産税が高くなると新たな住人が住みにくい、定着しないと思います。急な人口増加に対応した結果、公共施設の乱立とおっしゃいましたが人口増加に加担したのは名張市ですね
4	・税率upの期限が欲しい
5	・5年毎の検証は大事ですが、持続可能な財政健全化ができるのか疑問であり、恒久的な取組も必要と思う。
6	・収入に応じての固定資産税を各戸で厳しくしていただき、全家庭0.3%では私たち年金生活者は厳しく感じています。もう少し細かな固定資産税を考えていただきたい。
7	・行財政改革プランで特別職の給料削減で名張市議会議員の給与も削減するべきではないか。
8	・財政が厳しいので仕方ありません。
9	・すずらん台の三重交通バスの減便により、買い物、病院等への外出がしづらい状況になっているので、ナッキー号などのコミュニティバスをせめてすずらん台口まで運行してほしい。
10	・財源を住民に課することに対して市民は納得できないのではないかと。市内から集めたお金を市内で使う発想はよくない。市外からお金が入る施策を打ち出さないとと思う。
11	・はたっこ号等の見直し。現在バスを利用している人が少なすぎると思います。遠くから通学している児童のスクールバスに利用したらどうかと思います。もちろん料金は個人負担で。親が学校に送ってくる人が沢山います。事故等の不安もありますしバスの利用にも貢献出来るのではないかと思います。
12	・初等教育の更なる充実。特に英語・算数・数学の強化。
13	・本日の説明会では財政危機をどうやって抜け出すのかわかりませんでした。市長が長々と説明してくれたが、増税分をどれだけ必要な施策につかうか、どれだけを財政再建に使うか分らなかった。質問にも曖昧な話ばかりでがっかりしました。特に、すずらん台の課題で、中学校への通学バスの負担軽減について、スクールバスにするとか曖昧な話で誤魔化された感じです。増税で協力するのだから、予算化して実現してほしいです。

Q 7. 固定資産税の税率見直し、市政運営、地域の課題等について、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。また、より良いまちづくりに向けて、市民の皆さんからご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。	
14	・内容は少し違いますが説明会の開始の時間に問題があります。市役所職員の方々の時間もあると思いますが、18時からだと出席可能なのは高齢者で、実際に仕事をしている若い方々の意見が聞けないと思います。これからも色々な説明会があると思いますが、どの年代に向かって意見を聞くかが重要と思います。
15	・人口減少に加速がつくことにならないか気になります。
16	・無関心とあきらめ感を持っている人がたくさんいます。市が衰退する方向に流れています。
17	・本当に必要なものに税金を使ってほしい。
18	・ごみの減量化への意識改革、一般家庭ごみごとの。しつこいぐらい
19	・今後の人口減少の社会を考えると特に過疎地域に暮らす者にとっては他の地域の方々以上に多方面に不安を抱えています。
20	・市民が納得のいく事業を市民の意見を踏まえてすすめていただきたいです。 ・給食センターもごみ処理施設もすでにありきの計画になっているのではないのでしょうか。
21	・公共施設の稼働率にばらつきがあると思うので作ったものは活かすことを考えてほしい。（例えばエナジーウィズホール、Nabari n k） ・将来的にはゆめづくり地域交付金も減らして市内15地域のまちづくり協議会自ら稼いで活動資金を得る仕組みが必要ではないか。
22	・名張市のためなら無償で働いてもいいという方がたくさんいてくれます。そういう方々に市議員になって、任せてもいいんじゃないですか。
23	・地方紙に名張市の平均賞与が85万円とありましたが、民間の側（中小企業）から見るとかなり高額です。賞与・給与を含めてもう一度見直す必要があるのではないですか。今の収支を考えると市議会議員の人数をあと3～5人減らすことを考える必要がある。 ・市民が定着することで住民税、固定資産税の収入が上がりますが、一市民が生活して結婚、子育てをするためにはある程度の収入が必要になります。その収入を得るために名張市に雇用環境を整えないとこれからの運営はできなくなります。研究施設、企業、教育機関等の誘致の検討又、その期間にメリットのあるインフラ、交通アクセスを整備していく必要があります。 ・あと子どもが安心して生活できるように街灯の充実や防犯カメラの設置等も検討してほしい。
24	・大きな企業だけでなく、中小の企業を含め若い人から高齢者までしっかりと楽しく仕事ができる環境をつくるのがまず第一に必要なのではないのでしょうか。まず、就業環境をしっかりとさせていくことが魅力あるまちづくりにつながると考えます。新たな就労環境の確保が財政、市民の生活の豊かさづくりの基本です。そのための交通網の整備、市の広報活動等も含めてご検討ください。
25	・交通機関や道路、水道の整備が悪いと若い人が名張に住まないと思う。又地震対策もきちんとなしないと若い人は定着しないと思う。老人にもやさしいまちづくりをしてほしい。空き家の税金を増やす。市長が言う監査人4人は多すぎ
26	・何を根拠に決められているのかわからない。

Q 7. 固定資産税の税率見直し、市政運営、地域の課題等について、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。また、より良いまちづくりに向けて、市民の皆さんからご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。	
27	・地域エネルギーセンターに関わって、何故産廃物も一緒にするのか。一般ごみだけではだめなのか。市外からが多くなり、交通量も心配でないのか。
28	・伊賀市で行われている18歳まで医療費無料、大学生までの通学半額補助を名張市でも導入していただきたい。子育てしやすい街にすることで、子育て世代の人口増を目指してほしいです。（明石モデルを参考にしてほしい。）
29	・空き家の税率アップ、無駄な目標設定が多い
30	・大阪・名古屋へのアクセスの良さや自然豊かな環境の名張の魅力をもっと発信してもらいたいし、自分も一市民として発信していきたい。Uターンして定住を検討しているが、市の未来に夢や希望を感じられないと定住も再検討したほうが良いのかとも感じる。
31	・本日の説明会でも質問させて頂いたが何故固定資産税なのかという質問に対して市長の回答は今一つ明快ではなかった。行政の基本である公平化を差し置いてまで、特定の人、事業所にのみ負担を強いるのか。本来なら東日本大震災の復興支援税の様に所得に応じた負担を強いるのが公平、平等のはず。所得のベースとなる市民税だけでは総額が少なく8億円を捻出するにはアップ率が高すぎるとか、転入者を増やす為の障壁となる等、負担増となる固定所有者が納得のできる説明が必要。今後の説明会では是非改善願いたい。
32	・築瀬水路について 名張川から取水し農業用水、生活排水の浄化、防火用水等の機能をはたしています。市内の水路を經由し最終名張川に排出されます。浄化槽や下水道等が整備され水質は以前に比べ良くなっていますが生活ゴミの不法投棄が後を立ちません。剪定した花や木、咲き終えたフラワーポット、空缶、使用済パック、食べ残した食品、空袋等が捨てられています。びっくりしますがこれが現状です。 〈暮らしやすさと幸福が実感できるまち〉をめざす5つの重点施策 3. まちの賑わいと元気の創出 （かわまち・まちなか整備） 名張市では町の景観資源として位置づけられていると思います。先人が大事に守ってきた「水路」は財産です。後世に繋いで行く活動をお願いします。不法投棄は市民の意識改革が必要だと思います。行政から実態調査をして欲しいと思います。水路を守る市民より
33	・今回の固定資産税率にしても、中学校給食のセンター化にしても「丁寧に説明したい」と言うが、「丁寧」というのは市民の実態や声を反映した政策であってこそだと思います。行政の都合からの政策を説明するなら1か所2時間では短か過ぎます。 ・ごみ処理施設は、生活に欠かせない施設の問題と同時に環境問題にかかわる問題です。行政が責任を持って9年後を見据え、専門家（学者）の知恵を借り、広く市民にも働きかけて知恵を出し合って取り組んで行く課題だと思います。候補地だけの問題にしないでください。
34	・市民に負担を強いることを恐れる必要はないのではないか。更なる負担も有ではないか。
35	・伊賀市と共通でできるものは共同の施設とする

Q 7. 固定資産税の税率見直し、市政運営、地域の課題等について、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。また、より良いまちづくりに向けて、市民の皆さんからご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。	
36	・固定資産税で収入を増やすのは公平性として問題があると思われる。
37	・失礼を承知で苦言を申し上げます。お許してください。市民病院の赤字継続・悪化や給食センターの予算超過、必要な公共施設の見直し等、5年ごとの検証がなくとも固定資産税増税の継続は明らかで、検証を盾に、この期に及んで、次の選挙をまだ意識しているのかと疑念が増した。先行きが不透明であることを理由にR13以降の具体的な財政再建策や改善の見通しが示されていないことも不安を強くさせた。 増税ありきの説明会で、抽象的なビジョンに多くの時間を費やした上、退職金カットへの質問に対し、職員と共に給与等のカットを行っていること、モチベーションが下がることを理由に拒む姿勢は、政治倫理に欠け、驚いた。私が行政職員なら、同じようにカットしていると言いながら、退職金として多額の金額を手にすると思うと、それこそがモチベーションの低下の一番の要因だと強く言いたい。 退職金を手にしようとするのは権利だと言いたいのだろうが、このような状態で市民や他市の市長からどういう目で見られているのか、恥ずかしいのか不思議で仕方がない。公約に掲げないまま増税を強行する手法を取り、市民に負担を強いるのだから、簡単な挨拶で済ますのではなく、最低でも自ら身を切る改革と、赤字事業、新規事業の抜本的な見直し等、根拠ある具体的な財政計画を示すことは、必須であり、強く求める。
38	・国政策は、国民、市民の生活苦を軽減する為、課税策、補助金対策を進めています。名張市は逆行。名張市は長期にみて歳入安定確保中期計画を立てるべき！！と行動量。その理由 ①企業誘致→企業税収増及び転入家族増による税収増→一社くれば数十人家族が転入。 ②名張市に観光客増員対策として高速道路をつくり、入って来やすい環境をつくる→企業誘致もしやすい。地産増販による税収を考えた観光ルートの他府県へのPR、近隣市町村との連携コースを全国に広める策を考える。行動をして下さい！！企業税を増やさないかぎり歳入安定はないです。
39	・他市からの転入者に対し、補助金と住まいを用意する。
40	・固定資産税を増税し税収確保したとしても、従来型予算執行なら市政の健全化など無意味。京セラの稲盛さんの社内構造改革を見習うべし。 先ずは、市役所職員の意識改革をしていく事が最優先。
41	・説明をお聞きした感想として、固定資産税+0.3%ではしばらく運営出来ても健全運営は難しい懸念があります。別の財源で活性化が必要と思いますが、これ以上税金に頼らず別の収入手段を考えて、名張に住みたいと他地区の方々が思える運用を工夫して知恵を出し合ってください。経理関係には知見がなく具体策を記載出来ませんが、ふるさと納税なんかは地元産に拘らずビールやアトラクション入場券など若い人が興味を示す物を揃えて、名張に寄付するとこんな物が手に入るなど話題になるとか、名張駅に大きな看板を作って、通過するお客様が車窓から見て今度の休みに行きたくする工夫、空き家を活用した民泊を市内に展開して里山名張をゆっくり過ごしていただくなど、知恵を出してみてください。職員さんは日々忙しいと思うので、前向きな数名で選抜チームを作って、1年期限の専任でプロジェクトを行ってはいかがでしょうか。
42	・市政運営に疑問を感じています。全ての扱いについて、公平に措置していただくようお願いします。
43	・「財源の確保」よりも「歳入の確保」の方が、言葉から受ける印象が、やわらかく感じます 所得税のことを源泉と呼ぶ税務署のように、無限に湧き出る泉という意味合いのことを市民が感じてしまうと、市民がツラくなってしまいます 我々は打ち出の小槌じゃないと高齢男性からの意見も出ていましたね 言葉から受ける印象で不安になったりする市民もいると思います
44	・名張に働くところや学校がないので、働き手になるころに郊外へ転出されるので、その辺を考えないと子育て世代の優遇ばかりしても市の未来はないと思います。市議員の数が多すぎる。

Q 7. 固定資産税の税率見直し、市政運営、地域の課題等について、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。また、より良いまちづくりに向けて、市民の皆さんからご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。	
45	・市の財源の使い方が下手でマイナスが発生しているのに、なぜ市民がそれを負担しなければいけないのかわかりません。毎回説明会に参加していますが、質疑応答コーナーでの一般人の質問がだらだら長い、もっと質問数の時間を区切ってほしい。それに答える市長の回答も長すぎる。簡潔に答えてほしい。
46	・イベント行事は廃止すべき。支出のみで費用対効果がない。健全自治体になればすればよし。花火も廃止。名張市にそんな余裕がどこにあるのでしょうか。広報カラー廃止。二色刷りでよい。市民の協力を得る前に職員として給与カット（10～30% 固定資産税額2割上乗せ分を基準として）をしてから、言っていただきたい。10～30%カットするなら市民として協力させていただきます。まず、市役所でできる事をしっかりやってください。
47	・当面税率up止むを得ないと思う。
48	・消防、防犯、地震や豪雨災害への備えをはっきり明確に取り組みしてほしい
49	・空き家の活用
50	・この度の固定資産税0.3%上乗せで財政健全化は見通しが甘すぎて、結果として5年ごとの検証で更なる上乗せを市民にお願いする事になると思う。各企業の賃金アップによる人件費増、資材高騰等で公共施設の維持管理だけでも大幅な予算増になると思う。一例を挙げると、エアコンの2027年問題で公共施設のエアコン取り替えだけでもかなり費用がかさむと思う。また、ある企業の撤退でふるさと納税がかなり減額される事や、もう一つの企業撤退も税収に影響を及ぼすと思う。一方支出の方では高齢化が進行して社会保障費が益々増大する事や、金利上昇による公債費負担が重くなると思う。5年ごとに検証し、所要の措置を講じるではなく、変化の激しい時代だからこそ3年で検証して結果を次の市長選で信を問うべきである。最後にはお願いですが、市長から市議会に対して市議会議員の議員報酬と期末手当を少なくとも5%カットを申し入れていただけないでしょうか？名張市役所の一般職ですら2%カットしている。現在の財政状況になった原因は色々あるかと思いますが、名張市側だけに責任があるのではなく、名張市からの提案に対して今日まで承認して来た市議会にも大きな責任があると思う。
51	・固定資産税の徴収率が99%との回答があったが、空き地、空き家を含めた徴収率は何%ですか？空き家は所有者等の追跡ができ、給料の差押等の処分が出来そのような対応をしているとの話であった。空き地の場合も同様に対応できますか？相続放棄となった場合の、空き地、空き家の管理はどのようになりますか？（空き地、空き家の雑草や樹木が伸び放題となった場合は、市が対応するのですか、そのまま放置するのですか、教えてください。）
52	・スマートシュリンクを進めていく上で、今後も税率アップは致し方ないと思う。その分、若者が家を買って子育てしたい街に選んでもらえるよう、SNSを大きく利用してどんどんアピールしてもらいたい。これからの教育は何をどのように学びたいか選べる時代だと思うので、【中高～大学～就職まで大阪通学圏内】を全面的にアピールして、豊かな教育、手頃に購入できるマイホームで若者の転入を呼びかけてもらいたい。
53	・若い人が安心して働ける就業場の安定確保。

Q 7. 固定資産税の税率見直し、市政運営、地域の課題等について、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。また、より良いまちづくりに向けて、市民の皆さんからご協力いただけることがありましたら、ご記入ください。

54	・説明会でも提案しておりますが、増税の一部を利用して住民自らの「地域のため、みんなのため」を活かした活動を盛り上げ、町或いは人の熱量を高めていくことが大切かと思えます。具体的には「夢づくり基金（仮）」を作り、住民のやりたいことを支援するしくみを作ることです。仮に200万円の予算があるとして1団体1万円の事業を行えば、名張市の200ヶ所で小さな活動が生まれます。子どもたちとのスイカ割りでもいい、一人暮らしの人を囲んでのランチでもいい、小さな「人のために地域のために自分ができること」が広がるのが力になります。名張市には72,000もの人が住んでおられます。身体の部分に不要なものが無いように全員が町を支えている大切な人財です。どうかまだ眠っているこの町の力を信じてみようではありませんか！
55	・静かで住みやすい町を求めて名古屋市内のマンションから引っ越して来ましたが、猿やアライグマ、テン、イタチが空き家に生息して、お庭を荒らします。何とかしてください。名古屋市に戻りたくになりました。名張市を出る人の気持ちが解ります。
56	1. 市職員の賃金カットと人員削減について ・財政が厳しくても一般職員の賃金はカットはすべきではない。世間では賃金アップ、最低賃金が上昇してる中で、この方針で行くと優秀な若手から退職者が増え、結果として市の運営が行き詰まると思う。また、特に維持管理室の人員は増やし予算も増額すべき。理由は台風始め暴風雨により道路脇他の樹木が倒れ停電等が発生しており、タイミングが悪ければ交通事故に繋がる恐れがある危険な場所が数多くある。名張にはすずらん台・つつじが丘・梅が丘・百合が丘始め山を切り拓いた団地が多く、団地の周辺や道路脇の樹木が数十年の年月を掛け大きくなっている。定期的な巡回と危険予知をして危険樹木の伐採をすべき。 2. 子育て支援について ・今の時代子育て支援という聞こえが良いが、本来の目的である少子化支援という言葉を使うべきである。産婦人科対策としては伊賀市と協力して森川病院の近くに妊婦専用のホテルを建て、妊婦始め家族が出産予定日から何週間か前から住めるようにして安心して出産できる体制を構築してはどうか？ 3. AIデータセンター誘致 ・高市総理肝入りのAIデータセンター誘致に取り組むべきではないか？ データセンターはかなり高温になり沢山の水がいると言われている。名張市には2つのダムがあり、日本全体から見ると夏の気温も低く、東南海大地震が起きても津波の心配がなく建設に向けて最適な地域だと思う。
57	・議員の定数削減や報酬見直しを考えていただきたい。
58	・税率見直しが低率であるので、協力いたします。
59	・頂いた資料に基づき、市民に報告をしながら、着実に進めていただきたい。
60	・地域活動に対する補助金は減らすべきではない。

※Q 7の自由記述については、趣旨を損なわない範囲で、個人が特定される表現等を整理して掲載しています。